

2024年度「ミマモリングアドバンス」
冬期セミナー前編



【今回のセミナープログラム】

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「見守る保育って」なに？！

チーム保育

異年齢

セミバイキング

ゾーン

選択制



ゾーンを作らないといけないの？
選択制でないといけない？

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「見守る保育」を理解する時に、
「保育の考え方」と「保育方法」に
分けて考えてみましょう！



「見守る保育」

保育の
考え方

- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通じて子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切にする

保育方法

- ・ゾーン
- ・選択制
- ・異年齢
- ・チーム保育など
- ・セミバイキング

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「保育方法」は取り入れていても「考え方」に沿っていない場合は、
「見守る保育」が、実践しづらいということになると思います。

大事なことは考え方を理解することです。



こんなこと起きていませんか？

- ・ゾーンはあるけれど、**子どもたちの発達や興味に合っていない**
- ・異年齢で保育をしているけれど、**一斉に同じことをさせている**
- ・一部の時間で選択性を取り入れているけれど、
通常保育は先生が主導している



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「保育の考え方」をよく見てみると、
指針の内容そのものなのがわかると思います。

「見守る保育」は、特別な保育方法ではなく、
子ども主体の保育を目指す考え方そのものです。



「見守る保育」

保育の
考え方

- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通じて子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切にする

見守る保育 = 指針に準拠している

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!


さて、この「考え方」に沿うようにしようと思うときに大事なポイントがあります。

「見守る」 という言葉を分解してみましょう。

↓ ↓
見る + 守る

「見る」とは何を見て、何を「守る」のでしょうか?


皆さんで考えてみましょう!
 (手元のテキストにご自身の考えを記述してみましょう!)



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!

① ワークシートに自分なりの言葉でお書きください。
 ② 記入が済んだら隣の先生と共有してください!
 ・時間：3分

今日の体験メニュー!



「ミマモリングアドバンス」前編 ワークシート

こちらのシートは、セミナー前編で使用しますので、参加者それぞれにご用意ください。ご提出は不要です。
 本編の「保育実践シート」につきましては、毎月15日(金)までメールでご返信をお願いいたします。
 「保育実践シート」の印刷は、お申し込み時のメールアドレス宛と、カダヤドに搭載しておりますので、ダウンロードしてご利用ください。

「見守る保育」の要諦「発達を見守る」の理解
 「見る」「守る」とはどのようなことを考えてみて自分なりに言葉にしてみてください。

見る:
 守る:

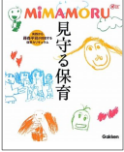
ここ

ワークシヤップID
 「ミマモリング」の説明を聞いて感じたことや発達チェックを行ったことをシートにご記入後、チャットにご入力ください。(複数人でご参加の際は、可能な限りチャットにご入力ください)

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの?!
 「見守る」とは、子どもの何を見守るの?!

見る (その子の発達状況と興味関心を理解する)
 +
 → 「**ミマモリング**」
 +
守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

上記のポイントを守っていくことで、「見守る保育」の考え方に添いやすくなりますね。




『見守る保育』
 藤森 平司著より


1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見る」ことができないと「守る」ことができない

どんなに優れた保育環境でも、目の前の子どもの発達と興味関心に沿ってなければ意味を成しません。

「見る」(発達や興味関心を理解する)というのは、
 「守る」(発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)ためには欠かすことの出来ないことなんです。



発達理解・捉え方が大切です!




1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
 「見守る保育って」何?!

「発達」と「興味関心」を理解するとき、「興味関心」は子どもを見ていたり、子どもに聞いてみたりすることで理解しやすいイメージがあります。

しかし、「発達」は子どもに聞いても分かりづらいのではないのでしょうか。5領域の中で、今の発達がどこで、次の発達は何か。

発達段階を踏まえることが**保育の専門性**でもあります。

さて、だからこそ、先生方が「発達」をしっかりと見ることができる環境づくりが園として大切なわけです。




環境づくり
 環境づくり
 今
 次
 発達のイメージ図

2. 「ミマモリング」について
 先生方が発達を理解するために必要な環境とは?!

子どもたちがゾーンやコーナーを通して成長していくように先生方が自然に学べる環境を園内に作っていく必要があります。

今までの発達記録様式は、年齢別の様式で「手書き式」「チェック式」などがありましたが、様々な理由から発達理解を難しくさせていました。

なぜ発達の理解が難しかったのかについて、実際の書類を今から画面に映しますので考えてみましょう!



2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！
開発の経緯（発達の理解について）—手書きの記録様式

手書き式の書類を使ったことがある先生は、こちらの書類の困ったこと、大変だったことを思い出してみましょう！

【手書き書類での困りごと】
先生が気付いたことは書けますが、気付かないことは抜け落ちてしまい、書き手によって内容が左右されてしまいがち。

【手書き書類での困りごと】
書いた内容がその子の発達なのか、性格なのか、その日の出来事など混ざりやすい。発達課題が書かれていないと、保育計画に活かせず、監査のための書類になってしまふ。

2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！
開発の経緯（発達の理解について）—チェック式の記録様式

年齢式のチェック様式の書類を使ったことがある先生は、この書類の困ったこと、大変だったことを思い出してみましょう！

【年齢式書類での困りごと】
年齢の刷り込みにより、年齢でその子を見てしまい、記録がつかないと「出来ない子」となってしまいがちです。実際は3歳の発達状況かもしれませんが、3歳の発達項目は3歳の用紙にしかありません。

【チェック式での困りごと】
「自分でできる」の記録がついた場合、本来、その先の発達状況であっても、こちらの書式では把握することが出来ません。

2. 「ミマモリング」について

ミマモリングでできること

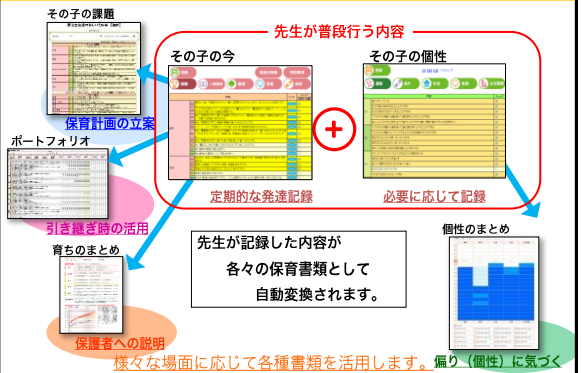
- 年齢ではなく子ども一人ひとりの今の発達状況と次の課題が分かる環境づくり
- 子どもたちにどんな環境を用意していけば良いかが分かりやすくなる環境づくり
- 3法令に沿った書類を作成し、現場の保育書類の軽減ができる環境づくり

⇒専門性が自然と高まる環境づくりと、『質の高い保育』、『業務省力』の両立を行えます。

【保育所保育指針や幼稚園教育要領・認定こども園などの3法令にソフトを使うことで職員の皆さんが自然と身に付けていける環境づくり】

2. 「ミマモリング」について

ミマモリングの仕組み—全体像



様々な場面に応じて各種書類を活用します。個り（個性）に気づく

2. 「ミマモリング」について

「その子の今」画面概要

1.3法令の「5領域」と「発達の特徴」で分類

健康 人間関係 環境 言葉 表現

2.指針の項目をカテゴリ毎に整理

内容	ヒント	チェック
M1 身近な動物や植物の自然事象をよく見たり、触れたりすることで驚き、興しを持ち、つ。	見よう	○
M2 身近な動物や植物の成長をま。	見よう	○
M3 身近な動物や植物に関心をもち、	見よう	○
M4 身近な動物や植物に親しみ、い。	見よう	○
M5 生き物たちに親しみ、接する体験を通して、愛護を思いで世話をしようとい。	見よう	○
M6 身近な動物や植物の成長をま。	見よう	○
M7 自分や他人のものの区別を知り、共有のものをま。	見よう	○
M8 自分や他人のものの区別を知り、共有のものをま。	見よう	○
M9 身近な物や動物の成長をま。	見よう	○
M10 身近な物や動物の成長をま。	見よう	○

3.年齢ごとではなく0～6歳までの項目を縦に発達段階で並び替え

4.年齢ではなく発達区分で分類
M0 = 0～2歳
M1 = 3歳
M2 = 4歳
M3 = 5歳
M4 = 6歳

5.子ども姿を想像しつつ指針の解説文を読みながら発達を理解していくことが出来ます

【健康】
【人間関係】
【環境】
【言葉】
【表現】

年齢毎に分けられている発達項目

入園から卒園までの発達一覧

2. 「ミマモリング」について

「その子の今」画面概要

1.3法令の「5領域」と「発達の特徴」で分類

健康 人間関係 環境 言葉 表現

2. 指針の項目をカテゴリ毎に整理

3. 年齢ごとではなく0～6歳までの項目を縦に発達段階で並び替え

4. 年齢ではなく発達区分で分類
M0 = 0～2歳
M1 = 3歳
M2 = 4歳
M3 = 5歳
M4 = 6歳

5. 子ども姿を想像しつつ指針の解説文を読みながら発達を理解していくことが出来ます

内容	ヒント	チェック
M1 親しみをもち、身近な動物やものの自然事象をよく見たり、触れたりなどして喜び、親しみをもち、	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M2 身近な動物物の世話をする	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M3 身近な動物物に好奇心を持ち、いながらの遠くまで目を向ける。	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M4 身近な動物物に親しみをもち、いながらの遠くまで目を向ける。	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M0 自然事象をほのめ自然事象をよく見たり、触れたりなどして喜び、親しみをもち、	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M1 身近な動物物の世話をする	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M2 身近な動物物に好奇心を持ち、いながらの遠くまで目を向ける。	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M3 身近な動物物に親しみをもち、いながらの遠くまで目を向ける。	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>
M4 身近な動物物に親しみをもち、いながらの遠くまで目を向ける。	見守り	<input checked="" type="checkbox"/>

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

チェック時の注意事項

チェックをする上では『発達過程』や『発達の連続性』をふまえて下記に注意して下さい。

① 一つのカテゴリ内では、歯抜けのチェックにならないようにします

② すべての判断基準を満たした場合にチェックを付けるようにします

◆チェック時の注意事項
発達過程や連続性の見落としがないように注意しながらチェックをしてください。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！


では次は、

見る (その子の発達状況を理解する)
+

守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

この2つのポイントについてソフトを実際に使って体験から学んでいきましょう！

まずは、
「見守る」の「見る (その子の発達状況を理解する)」について、実際に園児さんを決めてチェックして体験から理解していきましょう。




3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップ①

今日の体験メニュー！

ワークショップ開始のご準備をお願いします！

- 「ミマモリング」にログインしてください
- グループごとに発達のが分かる園児を一人決めてください




3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップ①

今日の体験メニュー！

3. 「ミマモリング」のチェックを開始してください

- グループで話し合っ、相談しながら5領域の発達チェックを付けてください。(領域はどこでも構いません。)
- 時間：7分間
時間が近くなったらお声掛けします。



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップ①

今日の体験メニュー！

【ワークショップの流れ】

- ワークショップ①の内容についてワークシートにまとめ次第、チャットに感想をご入力ください！
- 複数人でご参加の場合には、時間の許す限りご入力ください。
- 時間：5分

ワークショップ①
「ミマモリング」の説明を聞いて感じたことや発達チェックを行ったことをこちらのシートにご記入後、チャットにご入力ください。(複数人でご参加の際は、可能な限りチャットにご入力ください)


ワークショップ②

ここ

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「守る（発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る）ワークショップ②

続けて「**守る**」の視点で発達チェックを見ていきましょう！



ワークショップ②の流れ

0分 ----- 15分 ----- 20分

- 1 「守る」視点で、チェックを振り返り！ **12分**
- 2 ワークシートに実践内容を記入 **4分**
- 3 チャットに課題・配慮を入力し送信！ **4分**

・時間：20分
時間が近くなったらお声掛けします。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「守る（発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る）ワークショップ②

	ヒント	チェック
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
、喜びたり	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
するなどし	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
たりする。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
つけたりし	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
たことなど	ヒント	<input type="checkbox"/>

①チェックが付いている項目に対して子どもたちが熱中・集中している環境があるか、皆さんで話し合ってみてください。
今の発達に対して子どもも自ら存分にその発達を味わえる、三昧できる環境があるでしょうか？
例）ハイハイを始めた子が、十分ハイハイができる環境があるでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？
→①の発達に対する環境が十分にできている場合のみ②へ

②次の発達に対してその子が主体的・自発的に発達できる環境を用意していますか？
環境がなければどんな環境が必要ですか？（物的、人的、空間的環境）
その子が出来ないのではなく、次の発達に対して子どもが主体的に発達できる環境を用意しているでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

・時間：12分
時間が近くなったらお声掛けします。


3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

「見る（その子の発達状況を理解する）」ワークショップ②

【ワークショップの流れ】

- ・下記の欄に今後の保育計画の立案のため考えた内容のご記入をお願いします。
- ・時間：4分

今日の体験メニュー！



ここ

ワークショップ②
要点を覚えて発達チェックを行って振り返り、保育計画の立案のために考えた具体的な取り組みについてご記入ください。
【欄外】健康・人間関係・環境・言葉・表現（選択した領域の一つ〇をつけてください）
M0・M1・M2・M3・M4（選択した区分の一つ〇をつけてください）
【カテゴリ】： 【発達項目】
記入例【カテゴリ】：自然現象 【発達項目】身近な動物の世話を楽しんで、愛情を持つ。
【配慮】車必すヒントコメントを参照ください。
※欄外に書き換えられそうなのは欄外に書き換えておきましょう！

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

配慮事項の記入事例①

体を動かす遊び M0 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。



指先を使うおもちゃ
つまむ、ひっぱる、握る、振る、持つなど



りんごの木のおもちゃ
つまむ、ひっかけるなど

コメント（次の計画）


【課題】体を動かす遊びM0 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。

【配慮】指先を使って遊ぶおもちゃを用意したり、壁に布を張ったりして、子どもたちが自ら遊べる環境を用意する。


3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

配慮事項の記入事例②

描画・造形 M2 感じたこと、思ったことや想像したことなどを様々な素材や用具を使って自由に描いたり、作ったりすることを楽しむ。



塗り絵



粘土

どーなってるんだろ？

〇〇ちゃんあの色使ってるんだろ？

コメント（次の計画）

【課題】描画・造形M2 感じたこと、思ったことや想像したことなどを様々な素材や用具を使って自由に描いたり、作ったりすることを楽しむ


【配慮】他の友達の作品を飾って見るところに飾り、他の友達の制作物を真似できたり、想像が膨らませるよう、机の配置などを見直す。

3.見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

守る（発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る）ワークショップ②
保育計画の立案のポイント

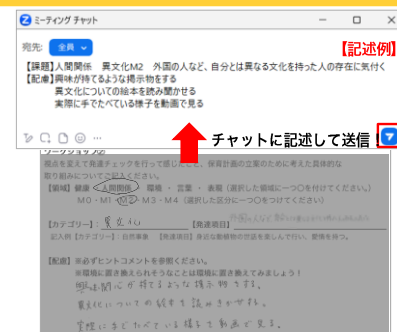
- その子の今の発達を「存分に体験できる環境」があるかを確認しましょう。その上で、「次の発達」にあった環境が園内にあるかを確認しましょう。
- 一斉に子どもに「やらせる」のではなく、子ども自身が「選べる」工夫をしましょう。
- 子どもの興味関心に寄り添った内容を工夫しましょう。
- 環境を用意するだけでなく、発達課題によっては（乳児など）「やってあげる」「助けてあげる」「大人が姿を見せる」などの配慮事項も考えましょう。

■人・物・空間から考えると、環境づくりしやすいですよ！
 人：子ども同士、子どもと大人などの環境づくり
 物：玩具や遊具、楽器、家具など物についての環境づくり
 空間：子どもの発達に合わせたコーナー・ゾーンの環境づくりについて



3.「ミマモリング」をどう活用するといのか

守る（発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る）ワークショップ②



※ヒントコメントもご参照ください！

3.陥りやすいポイント

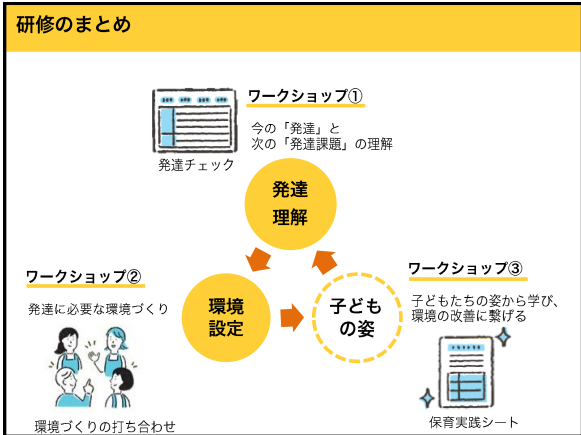
どう活用すると大人主体になりがちか？！

実践あるある

- ・早く発達をさせてあげようと手伝ったり、誘導してしまう
- ・保育者の意図性が強すぎて子どもの本当の声や心情を子ども自身が発することが出来ないようにしてしまう
- ・子どもが決める前に大人が決めてしまう

助長

- 1 力を添えて、ある物事の成長や発展を助けること。また、ある傾向をより著しくさせること。
- 2 苗を早く生長させようと思った宋の人が苗を引き抜いて枯らしてしまったという「孟子」公孫丹上の故事から unnecessary 力添えをして、かえって害すること。(goo辞書より)



後編のセミナーに向けて


ワークショップ①と②を踏まえて学がったアイデア（環境設定や玩具作り、言葉掛け等）を実行してみましょ！

保育室へ行って子どもたちの姿を見たり、保育室の環境設定を変えたりしてみてください。

※すぐに実行が難しい場合には、実行するための準備や打ち合わせなどを行ってください。

期間：2月14日（金）18時まで

次回後編のセミナーで、実践したことを共有しあって学び合いましょ！



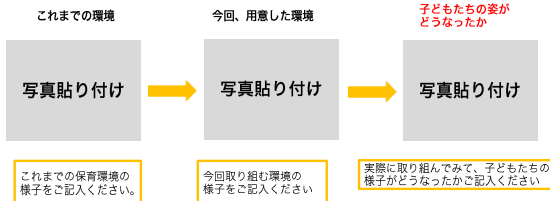
雑形 保育実践シート（園の概要）

●歳児クラス・園児数：
※こちらのシートを提出するクラスの保育室の写真を載せてください。

クラス全体写真	保育室の写真②
保育室の写真①	保育室の写真③

雑形 保育実践シート（実践内容の概要）

領域（実践した領域をご記入ください）
カテゴリ：（実践したカテゴリをご記入ください）
課題：M●（ソフトの項目をご記入ください）



雑形 今回の発達項目を選んだ背景

【現状の環境で困っていることなどをご記入ください】
例：現状の環境だと、●●で、こうすることで困っていて、
保育者がいつも子どもたちに声掛けしないとけなかった。



※現状の環境の写真や困っているシーンの写真を貼ってください。

雑形 今回、用意した環境

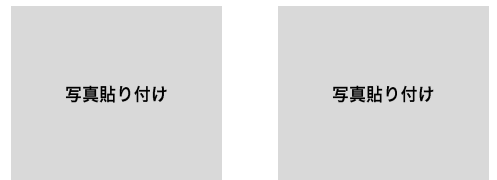
【今回取り組んだ環境についてご記入ください】
例：マークだと子ども自身が自分のものと認識が
出来なかったため、顔写真を貼り子ども自身が自分で
自分の物と気づける環境づくりを行いました。



※現状の環境の写真や困っているシーンの写真を貼ってください。

雑形 環境づくりで配慮・工夫した点

【取り組むとき、どのような工夫をしましたか？】
取り組むときに工夫した点などをご記入ください。



雑形 子どもの様子の変化

【子どもたちの様子はどう変化しましたか？】
子どもたちの様子や遊び方から学んだことなどをご記入ください。



雑形 課題と次にやってみたいこと

【取り組んでみての課題】

【次にやってみたいこと】

「保育実践シート」作成のポイント

- その子の今の発達を「存分に体験できる環境」があるかを確認しましょう。その上で、「次の発達」にあった環境が園内にあるかを確認しましょう。
- 一斉に子どもに「やらせる」のではなく、子ども自身が「選べる」工夫をしましょう。
- 子どもの興味関心に寄り添った内容を工夫しましょう。
- 環境を用意するだけでなく、発達課題によっては（乳児など）「やってあげる」「助けてあげる」「大人が姿を見せる」などの配慮事項も考えましょう。

■人・物・空間から考えると、環境づくりしやすいですよ！

- 人：子ども同士、子どもと大人などの環境づくり
- 物：玩具や遊具、楽器、家具など物についての環境づくり
- 空間：子どもの発達に合わせたコーナー・ソーンの環境づくりについて



「保育実践シート」雛形ダウンロード▼

株式会社カグヤ ホームページ



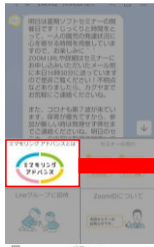
1月28日（火）冬期セミナー前編 各種資料



【セミナー当日提供される資料】
 ・ダウンロード可能な「保育実践シート」をご用意いたします。
 ・紙に印刷した「保育実践シート」もご用意しております。
 ・セミナー当日は印刷した「保育実践シート」をご用意いたします。
 ・セミナー当日は印刷した「保育実践シート」をご用意いたします。
 ・セミナー当日は印刷した「保育実践シート」をご用意いたします。
 ・セミナー当日は印刷した「保育実践シート」をご用意いたします。

「保育実践シート」雛形ダウンロード▼

Lineグループ



1月22日（火）夏期セミナー前編 各種資料

【前編のセミナー終了後にダウンロードをご提供いただく資料】
 「保育実践シート」の雛形・提出方法の資料
 はこちらからダウンロードをお願いします。

※発送チェックを行なったグループごとに実践を行ってください。
 シート作成後は、カグヤまでご提出をお願いします。
 ご提出の締め切りは、2月14日（金）18:00までです。
 「保育実践シート」のひらきにつきましては、パスワードロックを解除して取り戻すため、
 ワードパスをご希望の方は弊社までお問い合わせください。

Lineグループに招待をタップ

保育実践シート 提出方法

1. 保育実践シート（提出用）に取り組んだ内容をご記入ください。発達チェックを行ったグループ数分、保育実践シート（提出用）をコピーしてお使いください。
2. 保育実践シートは、参加園の皆さんと共有させていただきます。
3. 保育実践シートをメールでお送りください。データ容量が大きくメールで送信できない場合には、ギガファイル便など、メール便でお送りください。
4. 保育実践シートの提出先アドレス：okuyama@caquya.co.jp
5. 2月14日（金）18時までにご提出をお願いいたします。

お問い合わせ：株式会社カグヤ
 tel:050-1744-8823

保育実践シートは、セミナーにご参加頂いた園の皆様とデータ共有します。
 皆様の実践事例お待ちしております！

